

# 共同研究「公法理論・判例研究会」2014年度活動報告

研究代表 田 村 泰 俊

公法理論・判例研究会は、本年度からその設置を認められた。その目的と趣旨は、現代の公法学研究には理論の再構築が求められ、判例理論もその上に立った検討が必要となっているからに他ならない。

以上の目的と趣旨から、理論面からの報告が2回、共同開催による報告が1回行われた。次年度は、さらに充実した活動を行っていく予定である。

## 第1回研究会

日 時：2014年5月31日 15：00～

テーマ：「ケース思考の公法学」—規範主義との相克—非常事態

報告者：鈴木 庸夫（法科大学院教授）

## 第2回研究会（消費者法研究会との共同開催）

日 時：2014年7月19日 13：30～

テーマ1：「食品表示法の内容と運用の検討について」

報告者：消費者庁食品企画課法令係長 蓮見 友香 氏

テーマ2：「ワインのラベル表示と地理的表示をめぐる諸問題」

報告者：蛸原 健介

## 第3回研究会

日 時：2014年9月24日 15：00～

テーマ：公法判例活性化に向けた課題と展望

審査・解釈の手法② 立法裁量統制と憲法適合的解釈の意義と限界

報告者：宮地 基